



発行: 第4期幸区区民会議

問合せ: 幸区役所まちづくり推進部企画課 電話: 044-556-6612 FAX: 044-555-3130 E-Mail: 63kikaku@city.kawasaki.jp

第4期幸区区民会議の 審議テーマが決定 しました。



幸区では、平成24年7月に第4期幸区区民会議がスタートしました。テーマごとに、2つの専門部会を設置し、調査審議を進め、11月12日の第2回第4期幸区区民会議で、各部会ごとに取組状況の報告を行いました。

部会長から、それぞれの専門部会をご紹介します。

「暮らしの安全部会」

部会長 押山兼二

私たち「暮らしの安全部会」では、平成23年3月に発生した東日本大震災が約2万人にもものぼる死者・行方不明者を出した大災害であったことを受け、いざという時に市民が備えておかなければならない「防災」をまず第一の審議テーマとしました。

次に、幸区内で発生している交通事故の約3分の1が自転車がかかわる事故であることを受け、「自転車マナー」を第二の審議テーマとしました。

「自転車マナー」は、前期の区民会議提言にもあったように継続的な取組を求められており、具体的な取組を図ればと考えております。



「みんなで見守りたい」

部会長 古場敏光

私たち「みんなで見守りたい」は、女性7名、男性4名のチームです。

福祉の専門家に恵まれた特徴を活かし、この領域で、「住みよい幸区」の実現に寄与する「実際に役に立つ提案」を目指して、活動していくことになりました。

チーム名の中の「みんな」は、区民の皆さん、地域コミュニティーに暮らすひとたちを指しています。

あなたもわたしたちも、「みんな」の中に入ります。

平成26年3月のフォーラムで、「地域の力」を基盤にした「見守り体制づくり」の具体的なプランを提案することが、私たちの目標です。ご期待ください。



審議テーマ選定の経過について

「暮らしの安全部会」

・委員意見を5つの項目に整理しました。

「地域防災」、「自転車のマナー向上」、「子どもの安全・安心」、「暮らしの安全」、「エコ・環境」

・意見交換では、次のような意見がでました。

<主な意見>

- ・いつ起こるかわからない災害についての備えが必要
- ・区と自主防災組織との連携の仕組みが分からない。
- ・避難所の開設・運営方法が分からない。
- ・自転車のマナー向上には、継続した取組が重要

・「防災」、「自転車マナー」を審議テーマとし、取組内容の検討に向け、区危機管理担当にヒアリングを行い、意見交換をしました。

次の3つの取組内容について、検討を進めます。

自助の重要性

エリア別防災マップの検討

中学生を巻き込んだ防災訓練

等の取組検討

「みんなで見守りたい」

・委員意見を7つの項目に整理し、選定基準を設け「投票」しました。

<上位3項目>

- ・銀行、新聞販売店、牛乳屋さんにも見守ってくれるよう連携し、高齢者の異変等にいち早く気づき、住民同士で支援する。
- ・高齢者にやさしいまちにするために現状の点検をする。
- ・区の「花と木」の周知を行う。

・最も意見の多かった「高齢者の見守り」について、高齢者支援課と地域保健福祉課にヒアリングを行い、意見交換をしました。

<主な意見>

- ・老人クラブは、区と連携し、高齢者同士の支え合いを目的とした「ふれあい&すこやかサポーター」の養成事業に取り組んでおり、また、友愛訪問などの活動を行っている。
- ・声を掛けても地域に出てこない人をどうするか。
- ・支援を必要とする人と施設（地域包括支援センターなど）が繋がっていないのが、課題のひとつ。
- ・民生委員だけでは限界がある。地域全体で見守る体制を作っていきたい。

「地域の見守り体制づくり」を審議テーマとし、まずは実態をよく調べ、検討を進めます。

今後の予定

「暮らしの安全部会」

第4回 平成25年1月23日(水)

第5回 平成25年2月中旬開催予定

「みんなで見守りたい」

第4回 平成25年2月4日(月)

第5回 平成25年2月下旬開催予定



第3回第4期幸区区民会議

平成25年3月18日(月)

会議は、いずれも午後6時半に開始いたします。

会議は傍聴できますので、ご興味のある方はぜひお越しください。

(傍聴者は先着順20名 専門部会は5名)

幸区区民会議の詳細、開催スケジュール等の情報は、区ホームページにも掲載しています。

幸区区民会議

検索